

第4回 宅地開発における無電柱化の実効性ある推進方策検討会 議事概要

【日時・場所】

(日時) 令和7年6月26日(木) 10:30～12:00

(場所) オンライン開催

【議事要旨】

(1) 宅地開発無電柱化の現況分析と必要性、対象範囲、抑制手法等について

- ・資料について事務局から説明し、意見交換した。
- ・委員からの意見は以下のとおり。
 - 防災上の観点で、安全・安心なまちづくりを進めていくことを施策のトッププライオリティにおき、一定の地域を対象に規制し、都民の安全・安心を守るという考え方は、今回の制度目的としては良いと思う。
 - 環七沿いは東京の中でも最も地震時に良くない条件であることは以前から言っており、電柱は地震時に社会の迷惑になるため、規制することは良いことだと思われる。
 - 防災上重点的と考えている地域では、宅地開発の規制だけでなく、地域全体で整合性をしっかりとっておくべきと感じた。
 - 斑模様の無電柱化だと防災効果が限定的となり、連続的に整備することを目指すべきであると思うので、防災面での効果として広がりを持った整備を目指すことが重要と考える。
 - 規制手法として届出制、実効性担保措置として勧告・公表を組み合わせることが妥当と考える。無電柱化に取り組んでもらう実効性担保を目指すには、他の条例にあるように、事業者の名称や代表者氏名は公表事項に入れた方が良いと感じた。